

京滋コンクリート診断士会 第2回通常総会 議事録

日時：平成22年10月27日（水）午後2時30分～3時25分

会場：キャンパスプラザ京都 第4会議室

定足数確認：出席37名 委任状による出席22名 計59名（会員総数87名の68%）
以上から会則第15条により本総会の成立を確認

開会挨拶：長谷川会長

- ・3年目迎えた京滋コンクリート診断士会の状況報告。（会員数約90名）
- ・受験対策講座の実施、昨年3名が合格。
全国のコンクリート診断士数9,020名。
- ・昨年の診断業務のアンケートの結果、今年度は、現場見学会を重点的に実施。

来賓祝辞：国土交通省 近畿地方整備局 技術調整管理官 山本 剛 様

- ・公共施設の高齢化
 - 国道・都道府県道路 — 昭和40年代に全体の30%が建設。
 - 高速道路 — 昭和50年代に全体の30%が建設。
建設後30～40年が経過している。
- コンクリートに発生している問題点
- ①構造物の老朽化の問題
 - ②塩化物、アルカリ骨材反応の問題
 - ③骨材の強度不足による乾燥収縮の問題（関西が中心に発生している。）

- ・コンクリートは早期にひび割れが発生する。
原因：材料、メンテナンス、施工の問題と多くの原因で発生する。
 - ・コンクリートに発生するひび割れが、有害であるか否か、また、進行性であるか否かの判断結果によっては、国民（利用者）の安心・安全を脅かし、施設の寿命を決定する。
- *コンクリート診断士の技術は重要であり、今後活用する機会が多くなる。
コンクリートの診断に関する新技術や新しく開発された測定機器をコンクリート診断士会を通じて継続的に学習し、よりの確な診断をしていただくこと期待している。

議長選出：会則第 10 条により長谷川会長を議長に選出

審議事項

第 1 号議案	平成 21 年度事業報告ほか	(山口)	→	承認
第 2 号議案	平成 21 年度会計報告	(山口)	→	承認
	平成 21 年度会計監査報告	(高木)	→	承認
第 3 号議案	年会費の改定(案)	(山口)	→	承認
第 4 号議案	平成 22 年度事業計画(案)	(高井)	→	承認
第 5 号議案	平成 22 年度収支予算(案)	(高井)	→	承認
第 6 号議案	役員任期満了に伴う選任(案)	(長谷川)	→	承認

閉会：審議事項すべて承認され閉会。

記録：辻 景介